



西栗倉小だより

～ 自信 チャレンジ つながり 自分みつめ ～

令和7年2月5日 NO. 11

どんな心の鬼を退治しましたか



2月2日（日）は節分でした。節分には立春、立夏、立秋、立冬がありますが、最近は立春だけが節分と呼ばれることが多くなりました。昔、立春は1年の始まりとされ、その前日である節分は、今でいう大晦日でした。

節分の時期には邪鬼がはびこるとされ、その邪鬼を払い、幸福を呼び込む意味で、豆まきをします。また、イワシの頭をヒイラギの枝にさしたものを玄関に飾り、邪鬼をよせつけないようにする風習もあります。

ちなみに、恵方巻を食べるのは、年越しそばを食べるのと同じように、長いものを食べて幸せを呼ぶという意味があるそうです。

児童朝礼で子どもたちに以上のような話と、心にも鬼が潜んでいることを話しました。「面倒くさがりの鬼」「素直になれない鬼」「意地悪をしてしまう鬼」など、人間には心の鬼がいて、豆まきをすることで、それらを退治します。そして、代わりに新たな気持ちで頑張ろうとする心を迎え入れるのです。

どんな鬼を退治して、どんなことを頑張ろうとするかを考えて、残り2か月を過ごしてほしいと思います。



ふわふわ言葉 4枚目達成！！！！

ついに、児童玄関に掲示してあるふわふわ言葉カードが、模造紙4枚を埋め尽くしました。

今回は、先月末に行われたスキー教室でのふわふわ言葉がたくさん集まりました。

- ・自分を心配してくれる「大丈夫？」
- ・可能性と勇気を与えてくれる「〇〇さんならきっとできるよ」
- ・繋がりを感じさせてくれる「一緒に滑ろうよ」
- ・達成感を感じさせてくれる「うまくなったね」

子どもたちはこのような言葉を交わすことで、きっと心が温かくなったことでしょう。友達と関わることで温かい気持ちになる。だから、友達の大切さがわかるし、友達を大事にしたいと願うようになる。

こうやって言葉は人と人が繋がりが合う雰囲気をつくれます。それが、だんだんと文化となっていくのです。これから、子どもたちがどんな文化を創っていくのか楽しみです。

そして、ふわふわ言葉は5枚目に突入です。



3学期に入り、スキー教室、給食感謝集会、英語フェスティバルと行事が盛りだくさんでした。来週は今年度最後の参観日。その後も、4～6年生は、いろいろな会で、ふるさと元気学習の発表があります。子どもたちの力を発揮する場はまだ続きます。どうか応援のほどよろしくお願いします。